

第38回 積丹町文化祭

積丹町文化祭実行委員会（大橋正雄委員長）主催による平成20年度の積丹町文化祭が、総合文化センターを会場に開催されました。

今回で38回目を迎える今年の文化祭は、展示の部が11月1日から3日まで総合文化センターで行われ、保育園児や小中学生、一般の方々まで、たくさんの町民の皆さんから寄せられた書道や俳句、陶芸や写真など884点の力作が展示され、期間中536人の方々が訪れました。また3日には同センターで茶道展やバザーも行われ、いずれも賑わいを見せていました。

芸能の部は、11月8日に開催され、町内各地区の婦人会やカラオケ愛好会による歌や踊り、美国中学校吹奏楽部や詩吟愛好会などが日ごろの練習の成果を披露、またトランペットによるジャズ演奏やギター演奏もあり、満員の客席からは盛んな拍手が送られていました。一部ですが写真で紹介します。



地域安全・非行防止に尽力 菊谷富彌さん 防犯功労受賞

多年にわたり地域安全活動に尽力し安全で安心な街づくりに貢献された方々の功績を讃える(財)全国防犯協会連合会主催による平成20年度防犯功労者に菊谷富彌さん(美国町82歳)が選ばれ、小山武春美国駐在所長より10月27日に役場で表彰状が伝達されました。

菊谷さんは、27年間の長きにわたって地域防犯活動のリーダーとして、夜間パトロールや街頭啓発等各種活動を積極的に行い、地域住民に安心な街づくりの自主防犯活動の普及などに大きな成果を挙げるなど防犯

死亡交通事故 ゼロ3,000日を達成

平成12年8月15日に町内で起きた交通事故故死以来、平成20年11月1日で、交通事故死ゼロ3,000日を達成したことから、北海道知事からの感謝状と北海道交通安全推進委員会からの表彰状が宮木康二後志支庁長から松井町長に伝達されました。

伝達式は11月5日に役場会議室で、交通安全協会長をはじめ、交通安全指導員会長、町職員など約30人が出席のもと行われ、松井町長は「さらに交通事故死ゼロの記録が続くよう町を挙げ、地域を挙げて努力します。」と感謝と決意を述べていました。

交通事故は全てのもを一瞬で無くして



活動の功労が認められ、このたび表彰となりました。おめでとうございます。



しまいます。残された家族や友人の悲しむ顔をつくらないために、日常の交通安全を心がけましょう。

大盛況のはしご酒大会

積丹飲食店組合（別所範一会長）は、日頃の感謝と町の活性化を図ろうと10月24日、美国町で第4回「はしご酒大会」を開催し、町内外から訪れた約250人が小雨が降りしきるあいにくの天候にもかかわらず、飲食店を渡り歩き、町は賑わいを見せていました。

同大会には、美国町内の飲食店11軒が協力し、参加者はコースに分かれて指定された4店を制限時間の1時間15分以内に回るもので、4店のうち1店はすし屋が入るのが特徴で、自慢の旬のネタ5カンを出されるなど、積丹町の海の幸と酒を楽しむ



のも魅力の一つとなっています。参加者は午後7時からのスタートと同時に、指定された店に分かれて、各店の趣向をこらしたお通しをおいしそうにほおばりながら、職場の同僚や仲良しグループでお酒を酌み交わすなど店内から歓声と笑い声が漏れていました。

制限時間内にゴールした後は、総合文化センターで町内で利用できる飲食券や特賞千円のみ取りなど景品86本が当たる大抽選会が行われ、参加者のほろ酔い加減が加わってか、抽選のたびに歓声があがり当選者の笑顔があふれていました。「千円つかみ取り」には4人が挑戦し、最高獲得額は3万1千円でした。

美国中3年生職場体験学習

美国中学校の3年生17人が11月7日に職場体験学習活動を行いました。これは仕事の苦労や大変さを肌で感じてもらうこと、生徒へのアンケート調査から、生徒が希望した職場の町内11箇所（びくに・みなと保育所、消防署、岬の湯、老人施設、セイコーマート、はりま商店、八戸商店、ガソリンスタンド、農家（美濃さん、入江牧場）で職場体験を行なったものです。この日は肌寒い日となりましたが午前9時から午後3時まで熱心に実習が行われました。体験をしている生徒に感想を聞くと「将来の夢に向かい体験をしたかった。」「どのような仕事をしているのか興味があった。」「仕事の流れを見たかった。」「身内がしている仕事を体験したかった。」などそれぞれの思いの中、行われていました。全員を取材することはできませんでしたが、頑張っている姿を紹介します。



岬の湯 じゃこたん

入館者100万人 達成!

岬の湯じゃこたんは、平成14年1月のオープン以来、平成20年11月4日（開業から6年10ヶ月）に入館者100万人を達成しました。

100万人目の入館者は職場の仲間2人と道内を周遊中の福井県大野市在住の会社員、中村允（なかむらまさこ）さん。受付で100万人目と告げられ、驚いた様子を見せながらも、松井町長から一夜漬けのウニやイクラなどを詰め合わせた記念品を贈られると笑顔を見せていました。

中村さんらは、旅行雑誌に掲載された町営温泉の眺望に魅せられ来館。「記念品をいただきたい上に、露天風呂からの眺めも最高で、大いに楽しめました」と話していました。



記念品を受け取る中村さん（左から2人目）